

ぴーたろう くじびきで へんなけいひんを もらう へんみ あやか

はるです。とりのぴーたろうが、あたらしいおうちに
ひっこしてきました。もじやもじやの木のうち3ちよう
めです。ぴーたろうは、いえのなかのにもつをととのえて、
あたらしくかわないといけなものをしらべました。
「れいぞうこはかった。せんたくきはかった。あ、とけ
いをかわなくちゃね。あとは、あ、……せんぷうき！」

ぴーたろうはせんぷうきをかいに、ピーチクパーチク
でんきてんへ、いきました。おみせのなかにはいつて、
せんぷうきコーナーへいくと、いっぱいあります、せん
ぷうき！ おおきいのから、ちいさいの、すずしいのから
すずしくないのまで。ぴーたろうは、すずしいのをえら
びました。

「てんいんさん。このせんぷうきをください」

「ありがとうございます。おきやくさま、おめがたかい
このせんぷうき、すずしいんですよ。それにいま、せん
ぷうきをかけてくださったおきやくさまは、くじがひけ

いをうごかしはじ
めました。せんぷ
うきがたのとけい
は、せんぷうきを
すこしちいさくし
たくらいのおお
きさで、せんぷう
きのまるいふち
に、とけいらしく
1から12までのす
うじがかいてあつ
て、せんぷうきの
はねがとけいのほ
り、ということに
なっています。

さあ、ぴーたろ

うが、とけいのお
しりにでんちをいれました。すると、とけいのほりがう
ごきでした。でも、なんということでしょう。とけ
いのはりがせんぷうきみたいに「ぷいーん」とまわ
りつづけるので、いま、なんじなんぷんなのか、まった
くわかりません。

「ぷいーん」



ます」

わーい、くじびき、
たのしそう。くじび
きのけいひんには、
せんぷうきの絵がか
いてあるうちわとか、
せんぷうきぐるぐる
キャンディーとかが
あります。

ぴーたろうが、く

じびきのガラガラ

——あの木のはこが、
かんらんしゃみたい
にまわって、なかに
いろいろないろのた
まがはいっているや

つ——をまわすと、きんいろのたまが、ぼいとでました。
「おめでとうございます！ 1とうしょうの、せんぷう
きがたとけいです！」

「わーい、1とうしょう！ それに、とけいもかわなく
ちやいけなかつたから、ちようどいいや」

ぴーたろうは、せんぷうきと、せんぷうきがたとけい
をかかえて、よろこんでいえにかえると、さつそくとけ

「へんなもの、もらっちゃったなあ。ちゃんとしたとけ
いを、かいにいかなくちゃ」

ぴーたろうは、こんどはとけいをかいに、クルッポー
とけいてんへいきました。ちゃんとしたとけいが、いっ
ぱいあります。

「よかつた。てんいんさん、このとけいをください」

「ありがとうございます。おきやくさま、おめがたかい
このとけい、ちゃんとしております。それにいま、とけ
いにかけてくださったおきやくさまは、くじがひけます」

「わあ、まただ」

ぴーたろうが、くじびきのガラガラをおそろおそろ
まわすと、ちやいろのたまが、ぽいとでました。

「ざんねんでした。10とうしょうの とけいがた せん
べいです」

「わーい、せんべい、うれしいです」

ぴーたろうは、よろこんでせんべいをうけとると、さつ
そくかじりました。

すると、かたい！ このせんべいの、どこがとけいが
たなかかというと、かじるとかたくて「カチ コチ カチ
コチ」。

ぴーたろうは、またへんなものをもらっちゃった。でも、
あじはおいしかったそうです。

(おしまい)

